



これは支部ニュース百万石ではありません。比呂さまひとりひとりに差上げる。プライベートなお便りです。即ち切手代その他自弁です。なんとミニミッチイと前置きを——でもきょうはそのミニミッチイ話のことです。

さて百万石のご愛読をいつもありがとうございます。やや張切りすぎの傾向あり、先日オク号をお送り致しました。そしたら急にいろいろ考えごとしてしまうようになりました。

これでもいいのかな  
なにか間違った方向に走っていないかな  
これから先はどんなにして行こうかな

先輩のぐうたら版やんぐ版の編集長たちの悩みに、僕もやうと出合うことができたと思っています。それに、了了本部でさえ絶えず反省し研究し、この間もあのややこしいアンケートを送ってきていましたが、そのへんの事情もよくわかります。



そこで百万石について比呂さまの批判をお疑いしたくなりました。へたなアンケートなどは、比呂さまが気を使ってくれてお世辞しかかえってこないのではないかと思ひ、ずばり「イエスカノーか」はっきりわかるいい方法を考え付きました。

講読料制への切换へです。  
あんなその読者の面刺さいなとお思ひの方は講読料を払わない。それでいいわけです。それが百万石批判の無言の答になってくれます。

ご存知のように百万石は支部の経費はいつかい使わずに皆様のカンパでまかなってききましたが、次のような泣きどころに出合ってしまった。

1. 貴重なカンパを無駄使いをしているのではないかという編集者の心配。

2. いつもカンパしてくれる人とカンパのチャンスのない人の両方に別れてしまうこと。

3. 読者の面刺さる人にまで、百万石を送ってきた無駄。このような泣きどころを一挙に解決し、しかも百万石を読まか読まぬか、イエスカノーかを一発で意思表示してくれるので、講読料制はなかなかいいと思ふのです。



ここでひとつ明確にしておきたいことがあります。義理を感じるから、顔面を合わせた時に具合が悪いかから購読料を払って、こう、といふのは止めにして欲しいのです。

お気持はありがたいのですが、その考え方は人情優先で百万石批判のはじめの目的からはずれてしまうわけです。

それから百万石講読料とほかのこととは絶対混同致しません。また会員としての日常の連絡は百万石を通じずに事務局からありますから、この点もご心配なく。

さてそれでは正直なご批判が、購読料が送られて来るか来ないかで表現されるとして、そのためにちよつと説明しておきたいことがあります。

| 百万石にかかる | 1部用  |
|---------|------|
| 切手代     | 50   |
| 封筒      | 1.60 |
| コピー紙    | 5.30 |
| 現像液     | 3.10 |
| その他     |      |
| 計       | 60円  |

2部送ると同封すると、1部あたり55円と安くなる。しかし3部も同封すると、なんと気が抜けてほいほいします。

となっております。ところが、本部や本部の先生からの自弁をや他支部送りで20部ほどの合弁が西あります。(このことは無言という意見よりも、必要という意見が多い。)

(支部ニュースでありながら多くの仲間が読まれている) それで今ここで購読料は何ヶ月分をいくらというふうな計算ができません。20名しか申込がないと、おひとり負担は倍になるわけです。30名では1部100円です。



それで誠にすみませんが、金千円なりをとりあえず送っていただけませんか。現ナマ封入(ゴ法度)か切手封入で郵送して下さい。早いほどありがたい。おそくとも22日つ例会の時。それ以後は遠慮させて頂きます。だってささしよう。なにやら泣き甲込の感です。

エラッそうなることばかり言っちゃって——正直なところ購読者が少なくて発行不能というふうなことになるなら、なんとしよう。他支部や本部の先生方から、笑いか声か、そつ思ふとツライ。

でも情けに溺れなさいね。(おお、この子イザ目。)

元祖三重版は私の道楽ですから、これは百万石読者は無料サービス、というより、道楽を自覚して出費するから、お茶菓子出して座布団して、どうも読んで下さいませの心境です。

